

方針案に関する地区別市政懇談会の結果

【地区別市政懇談会の開催概要】

地区	開催日時及び場所並びに出席者数	
	質問・意見	回答
本町地区	平成 22 年 8 月 19 日(木) 午後 7 時から午後 9 時まで 本町公民館 2 階大会議室 66 名	
	① ハコモノが厳しい状況にあることがわかった。しかし、公共施設白書を見ると、曾屋ふれあい会館は、平成 19 年度には約 3 万 5 千人の利用がある。この数は、上や渋沢公民館よりも多く、南公民館や大根公民館に匹敵し、混雑する本町公民館の補完的役割も果たしているとする。見直し対象かもしれないが、利用者は増加傾向にありコストも低いので、残してもらいたい。	面積は 3 割減るが、共用化などの工夫により機能は維持できるように努力していく。具体的な部分は、計画の中で明らかにしていきたい。
	② ハコモノは増やさないという方針は明確であり、評価する。計画は、客観的データに基づき進めてほしい。ただし、総合計画、行革プランも含め、市として何の施策を優先するのかがわかりにくい。人づくりは大事である。教育には力を入れるべきではないか。	高齢者も大事だが、あらゆるものを犠牲にしても、子どもたちをしっかりと育てていきたいと考えている。(市長答弁)
南地区	平成 22 年 8 月 20 日(金) 午後 7 時から午後 9 時まで 南公民館 2 階大会議室 79 名	
	① 他市で文化会館や公民館を休止するというニュースを見たが、秦野市でも大変な状況であることがよくわかった。	(意見のみの扱い)

地区	開催日時及び場所並びに出席者数	
	質問・意見	回答
東地区	平成22年9月1日(水) 午後7時から午後9時まで 東公民館2階ホール	
	① 老人いこいの家を使う人が増えている。二間続きの部屋を区切れば、もっと多くの人利用できるし、光熱水費の節約にもつながる。少々の工夫で管理運営費の削減を行えるのではないか。	再配置の方針案では、小規模な地域対応施設は、地域に運営を委ねていけるようにしたいと考えているので、協力をお願いしたい。また、公民館で行えば有料になる活動が老人いこいの家では無料で行えるというのも、見直しを行う必要があると考えている。
北地区	平成22年8月18日(水) 午後7時から午後9時まで 北公民館2階大会議室 36名	
	① 優先順位の最終決定はどのように行うのか。	委員会からの提言に基づいて、方針案として示した。最優先以外は、現段階では明確になっていないが、アンケート結果等の市民ニーズを見ながら計画に位置付けていきたい。
	② 地区ごとの施設の多い、少ないによって残る施設が決まってしまう恐れがある。地域の意見も聴きながら決めてほしい。	地区ごとの現状にばらつきがある。現状を把握しながら地区の実情に合わせて考えていきたい。いずれにせよ、納税者である市民も利用者である市民も同じテーブルで議論することが大事である。全てを公開しながら検討を進めていきたい。
大根地区	平成22年8月30日(月) 午後7時から午後9時まで 大根公民館2階ホール 50名	
	① 再配置という言葉には、今ハコモノがない地域にハコモノを作ると言う意味はないのか。説明を聞いていると、再配置計画ではなく、更新計画のように感じる。再配置という言葉の意味は何か。また、遊休地のようなものはどうしていくのか。	ハコモノのあり方の見直しを第一とし、適切な配置と効率的な管理運営を考えることを再配置とする市独自の定義である。遊休地については、計画を進める中で、適切に活用していきたい。

地区	開催日時及び場所並びに出席者数	
	質問・意見	回答
大根地区	② 大根地区には公共施設が少ない。少ないところには増やしてもいいのではないか。	<p>全市的な利用を図る中央運動公園などが、市の中心部に配置されているため、大根、鶴巻地区には少ないと感じるのかもしれないが、おおね公園などもあり、小中学校も含め決して少ないとは思っていない。</p> <p>大根川のポンプ場は、35億円をかけて整備を進めている。ハコモノにかけているお金は少なくとも、公共施設にかけるお金は決して少なくはない。(市長答弁)</p>
	③ 計画はよく考えられていると思うが、新たなハコモノは作らないといっているのに、温泉掘削に億単位の投資をするのは疑問である。	(意見のみの扱い)
	④ 活用されていない土地は売るということだが、日赤病院の隣は、1,000万円の利息を毎年払っていると聞いた。早く何とかしてもらいたいが、こういう経済情勢では買う人がいるのか。	<p>利息は年800万円くらいになる。この他にも、事業の計画があって取得したが、事業が進まなくなり遊休地になっている土地がある。地価は低いが、有効に活用できるようにしたい。しかし、逆ザヤになることは避けられない。</p>
鶴巻地区	平成22年8月25日(水) 午後7時から午後9時まで 鶴巻公民館2階大小会議室 36名	
	① 新しいハコモノは作らないという方針であるならば、今ある施設をどのように使うのが大事だ。公民館などは、子育てに必要な学習、高齢者のための学習の機会をもっと実施するなどして、生涯学習の拠点として積極的に活用してほしい。	<p>公民館の利用は、現状では貸館が中心である。今日は概要の説明にとどめているが、方針案の中には、学校も含め、公民館機能は地域コミュニティの拠点として位置付けているので、公民館機能の積極的活用を検討していきたい。</p>

地区	開催日時及び場所並びに出席者数	
	質問・意見	回答
西地区	平成 22 年 8 月 23 日(月) 午後 7 時から午後 9 時まで 西公民館 2 階大会議室 83 名	
	① ハコモノの見直しが進むということだが、秦野市の特徴的なものは残してもいいのではないか。例えば、幼稚園など。財政的には厳しいのだろうが、市にそういう特色があってもいいのではないか。	(意見のみの扱い)
	② 現在の公民館の機能を存続させてほしい。公民館は地域との接点である。常勤の課長補佐クラスの館長も存続させてほしい。	(意見のみの扱い)
上地区	平成 22 年 8 月 26 日(木) 午後 7 時から午後 9 時まで 上公民館 2 階大会議室 38 名	
	① ハコモノやインフラに寿命があることは当然だろう。また、財政状況が厳しいこともわかる。ハコモノが一番手をつけやすいのだろうが、上地区のようなところでは経済性だけで物事を考えてほしくない。上小学校、上幼稚園、上公民館がなくなれば、ますます地区が衰退する。	<p>修繕すら先送りになっているような現状の中で、こういう方針案を作った。義務教育は最優先としているので、現状では上小学校をなくすつもりはないが、将来にわたって絶対であるかといえば、そうとはいえない。なんでも費用対効果や数字で一律に考えるつもりはないが、財源を生むためには効率化も必要である。地区の皆さんと一緒にできるだけ不便にならないように考えていきたい。</p> <p>40 年先までのシミュレーションを基に方針案を作っており、明日すぐにそうなるというわけではない。納税者と利用者が同じテーブルについて、納得できるような結論を出していきたい。ハコモノだけではなく、道路、橋、下水道もある。このシミュレーションを基にして一緒に議論していきたい。</p> <p>(市長答弁)</p>

地区	開催日時及び場所並びに出席者数	
	質問・意見	回答
上地区	② 義務教育施設を最優先するとのことだが、学校の空いている教室を利用することで、解決できるものもあるのではないかと。借金を増やさずに再配置を行えないのか。	借入金を増やさずに必要性の高い施設の更新を行っていくことは不可能である。必要な負担は、次世代にもしてもらわなければならないが、返せなくなるほどの負担を残したり、何も手をつけずそのまま先送りするようなことはしないというのが再配置である。また、フロー図のキーワードにもあるように、ご提案いただいたような視点で、共用化などにより空いているスペースは積極的に利用するように考えていきたい。
	③ この計画は画期的だと思う。また、利用者一人当たりのコストなどを市民に示すことも大切だ。しかし、この地区に図書館や消防を復活させることはできないかということも検討してほしい。そのためには、新しい税財源を作るようなことまで検討しなければならないだろうが、そのくらいのことをしなければ、地区の前進はないと思う。	こうした議論が起きることを目指して、白書の段階から一貫して、わかりやすく数字で情報を明らかにしてきた。増税と言うのは、非常に勇気ある発言だと思うが、まずは出を制していきたい。そのために公開の事業評価も行うものだが、入を図るのは、その後として考えたい。
	④ 再配置を考える前に、先に仕分けがあるべきだ。例えば、老人いこいの家など限られた地域だけにある施設は、地域に渡して、地域で運営していくような体制をとるべきではないか。	(意見のみの扱い)

※ 主な質疑・意見等の欄は、公共施設再配置計画担当の職員が説明員として出席した際のメモを基に作成したものであり、各会議の事務局が作成する会議録の内容とは表記が異なる場合があります。